

# スペインにおけるクリミア・コンゴ出血熱の新規症例確認

2020年6月17日  
在スペイン日本国大使館

## 1. クリミア・コンゴ出血熱の新規症例確認

(1) カステージャ・イ・レオン州政府は6月11日付のプレスリリースで、クリミア・コンゴ出血熱の新規症例が確認された旨、発表しました。

(2) 発表によれば、患者(男性)は5月下旬にサラマンカ県の松林地域でダニに咬まれたもので、現在症状は安定しており、同州保健局はスペイン保健省と連携して対応中とのことです。

(3) スペインに居住されている方、または渡航・滞在される方は、各種ホームページ等から最新の情報を入手するとともに、ダニに咬まれない、家畜などにむやみに触れない等の予防に努めてください(下記2.(4)参照)。また、発生地域から帰国し、疑わしい症状がある場合には、早期に医療機関を受診し、適切な診断・治療を受けてください。

## 2. クリミア・コンゴ出血熱について

### (1) 感染源

ウイルスを保有したマダニに咬まれたり、ウイルスに感染した動物(特にヒツジなどの家畜)や人の血液等に接触することにより感染します。中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカで発生がみられます。

### (2) 症状

2～9日の潜伏期間ののち、発熱、関節痛、発疹、紫斑(出血)、意識障害などの出血症状がみられます。症状出現後2週間ほどで約30%が死亡します。回復する場合は、症状出現後9～10日で症状が改善します。

### (3) 治療方法

特別な治療法はなく、症状に応じた治療が行われます。

### (4) 予防方法

ワクチンや予防薬はありません。

草木の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避けるなど、ダニに咬まれないよう注意してください。また、家畜にむやみに触れないよう心がけてください。

## 3. 参考情報

### (1) 厚生労働省検疫所

<https://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name38.html>

### (2) 国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/vhf/cchf/1116-idsc/iasr-out/1089-iasr-f-1997-2011.html>